

団体名 質問項目	1. 身体障がい者の団体 (久喜市久喜身体障害者福祉会、久喜市菖蒲町身体障害者福祉会、久喜市栗橋身体障害者福祉会、久喜市鷲宮地区身体障害者福祉会)	2. 知的障がい者の団体 (久喜市久喜手をつなぐ育成会、久喜市菖蒲手をつなぐ親の会、久喜市栗橋手をつなぐ育成会、鷲宮手をつなぐ親の会)	3. 精神障がい者の団体 (あいの会、わかちあいるーむ、埼玉北障害者生活支援センターベルベール、あんご工房)
①障がいを理由とする差別解消について	<p>①内部障がいで外見は普通の人と変わらないので、わかってもらえないことがある。こちらからはこういう障がいたとは言えないので、外見だけで判断されることもある。</p> <p>②再任用で退職後5年間は保障されていたと思うが、退職後病気で倒れ、完治したが、退職した会社に就労したい旨を連絡したが、会社側から病気を理由に断ってきた、これは差別では。</p> <p>③逆に障がい者なのに上から目線で言っている人もいる。原因はどちらにもある。</p>	<p>①障害者差別解消法があることをもっと広くイラスト等を利用して、広めてほしい。</p>	<p>①精神疾患を持つ障がい者の人と接するにあたって、まず偏見や無理解、むやみに恐怖心を持つ、果ては差別に至ることが多い。それは、精神疾患に対する正しい知識を持っていないことから起こる。正しい知識の普及や啓発が大切である。具体的には当事者や家族などと直接関わる会議や集まりなど、回を多く持ち、接すること、話すことで理解することが差別解消につながる第一歩である。</p> <p>②精神障がいはいは見た目には分からない障がいゆえに、生活しづらさを抱えています。また、精神障がい＝怖い病気と感じている人も多くいるように思います。家族や親戚に障がいを抱えている方がいることで、初めて病気を理解したという方も少なくないです。どの障がいも同じことかと思いますが、正しい知識を得る機会がより身近にあるとよいと思っています。</p> <p>③当事者はさまざまな悪い条件をストレスに感じるが、それが健常者には理解しがたいので差別や偏見が生まれる。本人が言わない限り前に進まないで、当事者が出ていってきちんと物を言えるようになればと思う。</p> <p>④病気になってはじめてその病気のことを知ったという人が多い。正しい理解のために、当事者や家族が発言できる場が増えるといい。そのような場があれば、本人が元気になることにもつながるのではないかと。</p> <p>⑤小さいときから他の障がい者と接して、他の障がいでも大変な人がいて頑張っていることがわかれば、精神障がいを発症したときにプラスになるのではないかと。</p> <p>⑥以前作業所を移転した時に地域の小学校の校長先生と話し合ったが、とても理解ある言葉をかけてもらった。皆さんがやさしく見守ってくれれば、精神障がい者もやさしく包まれていく世の中になるのではないかと。</p>
②障害福祉サービスについて	<p>【障害福祉サービスについて】</p> <p>①障がい者でありながら、障がい者認知を受けられない人が多い。障がい者に等級によるサービス区分はおかしい。</p> <p>②障がい者でありながら認知を受けられない人がいる。サービス区分がおかしいのではないかと。</p> <p>③ガソリン券を利用できる給油所が限られており、不便なのでどうにかできないかと。</p> <p>④タクシー券を一度に2枚使えるようにしてほしい。</p> <p>⑤6級だとタクシー券などをもらえないので、全額でなくても少しでももらえるようにしてほしい。</p> <p>⑥福祉有償運送について、詳しく説明してほしい。</p> <p>⑦サービスの谷場に入っても、支援は必ず受けられるようにすること。</p> <p>【手続き・相談体制について】</p> <p>①手続きの件で、簡素化して一度に済むようになったらと思います。</p> <p>②自転車や車がないので、ふれあいセンターでもっといろいろな手続きができるようになったらよいと思います。</p> <p>③障がい者の手引書を一度だけ説明されたが、よく理解できないので、福祉サービスが受けられない。</p> <p>④障がい者のしおりを見せて30分くらい説明しただけでは、理解するのは難しい。</p> <p>⑤福祉課の窓口相談室を設けてほしい。</p> <p>⑥障がい者を見受けたら、支所の職員はどのように対応しているのか。冊子を渡すだけでなく、フォローして長くつきあってほしい。</p> <p>⑦栗橋の街の中にも若い身体障がい者が見受けられる。支所で気づいていればだが、相談にのってほしい。私は意思疎通が悪いと思う。</p> <p>⑧新人メンバーが増えない。私がやっていたときは、県が各市町村の身体障害者手帳所持者数や助成金の一覧表を出していたが、なくなってしまったのか。</p>	<p>【障害福祉サービスについて】</p> <p>①放課後デイサービスは増えたが、生活サポートや移動支援・行動援護を行う事業所が少ない。そのため、従事できる職員数が少なく、利用に制限がかかっている。対応していただける職員数が増えるように、これらの事業を行う事業所の確保を、市として積極的に行っていただきたい。</p> <p>②生活サポートを規定の150時間使えるようにしてほしい。併せて、通学・通勤とかには使えないという久喜市のきまりをとっていただきたい。</p> <p>③本人の自立や社会参加のために、移動支援の時間数を増やしてほしい。支援の手がないからと、車いすの方などは、外出を控えていることが多い。</p> <p>④車いすの女性が職探しをしており、勉強などのために外出したいと考えているが、規定が15時間と厳しい。計画書を出せば増やしてもらえるが、前もって出すのはきつい。</p> <p>【手続き・相談体制について】</p> <p>①診断や、手帳取得したときに受けられるサービスや利用できる場所についての説明が受けられる窓口のような場所があると良い。(こちらから聞けば教えてもらえる場所はありませんが…)</p> <p>【人材育成について】</p> <p>①国・県・市にヘルパーの育成に力を入れてほしい。</p> <p>②地域の事業所が少なく選ぶこともできないし、ヘルパーの質の問題もある。ヘルパー確保のために人材育成に力を入れてほしい。</p>	<p>【障害福祉サービスについて】</p> <p>①心の病気はカウンセリングが必要です。しかし、あまりに保険がきかなく高価です(すずのき病院)。補助制度がほしいです。</p> <p>②カウンセリングを受けている人がいるが、全額自己負担なので大変である。必要なケースは多いので、何らかの補助制度などをつくってほしい。</p> <p>③統合失調症を発症しても、医師からサービスについての情報は何も入ってこない。全部自分で探したが、精神の場合は波が合って使いきれぬかどうかが問題になる。</p> <p>④精神障がいについては、サービスも医療も遅れている。もっと早く、細かいサービスを提供し、情報も入りやすくしてほしい。</p> <p>⑤ベルベールにつながった方にはご案内できるが、知らない人は情報を得る機会が少ないのではないかと。つながっている方でも相談員がたくさんいる訳ではないので、スムーズに支援できないこともある。</p> <p>【施設整備について】</p> <p>①特に精神障がい者の退院後の生活を専門家がサポートする支えていく体制を整備することが望まれる。決して退院後、野放し状態や放任にしないしてほしい。</p> <p>②精神障がい者を一日預かってもらえる(短期入所)ところが久喜にはないので、考えてもらいたい。やむを得ず、家族が出かけたり、突発的なことがあった場合は入院ではなく、入所させてくれるところがほしい。(なくてもいつも一緒につれ歩き困っている人が多い)</p> <p>③利用者様から「こんな生活がしたい」と希望を伺いますが、通所施設に限らず、どのサービスも数が少なく、他市の福祉サービスを利用されている人が多いと感じています。また、市内のサービスでも定員がいっぱいで、利用できなかつたり、職員が対応しきれない等といった理由で、制限されているというの現状だと思います。利用する上で手続きも多いので、「複雑そうなので」とあきらめてしまうこともあるように思います。</p> <p>④三障がいの方々に関わってきましたが、精神への補助金はあまりにも少ないと感じます。社会復帰可能の方への施設が足りません。</p> <p>⑤サービスの相談を受けても、サービス自体が少ないので返答が難しい。電車に乗ることができれば他市のサービスも使えるが、それが難しいと、就労系ではなくベルベールの日中活動やデイケアから始めるということになる。</p> <p>⑥B型の作業所は増えていると思うが、うちが地域活動支援センターⅢ型でいるのは、B型で継続が難しかった人でも誰でも受け入れてあげようと思つてのことである。金銭的な後ろ盾があると、もう少し大きく、本当に困っている人のためになれると思う。</p>

団体名 質問項目	1. 身体障がい者の団体 (久喜市久喜身体障害者福祉会、久喜市菖蒲町身体障害者福祉会、久喜市栗橋身体障害者福祉会、久喜市鷲宮地区身体障害者福祉会)	2. 知的障がい者の団体 (久喜市久喜手をつなぐ育成会、久喜市菖蒲手をつなぐ親の会、久喜市栗橋手をつなぐ育成会、鷲宮手をつなぐ親の会)	3. 精神障がい者の団体 (あいの会、わかちあいるーむ、埼葛北障害者生活支援センターベルベール、あんご工房)
③生活環境（施設等のバリアフリーなど）・住環境（住まいや住宅など）について	<p>【バリアフリーについて】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①道など、足の悪い人のため、段差をなくしてほしい。 ②バリアフリーとは平らなこと。 ③確かにバリアフリーは行き届いてきたが、日本人に思いやりの心が欠けてきているのではないか。 ④南栗橋駅から済生会病院へ行く道がでこぼこになっており、車いすでは通れないので何とかしてほしい。 ⑤久喜駅東口のバス乗り場に屋根がないところがある。手足が悪い人も傘をさして待たなければならないので、全部屋根をつけてほしい。 ⑥久喜駅のエスカレーターは時間によって、上り専用、下り専用となっている。常時、上下とも使えるようになったら助かります。 ⑦行政の市民課、病院等の待合の椅子に座っている時のことです。杖を突いているため、呼ばれた時に立って歩くのに時間がかかります。個別に椅子を用意していただければと思います。 ⑧介護保険では住宅改修で手すりをつけることができるが、障がい者でもトイレや階段、玄関に手すりがあると楽になるので、障がいのほうでも補助をつけてほしい。 ⑨商店に入る際、階段があり、入りにくい(2階に登るのに手すりがない)。 ⑩商店街にはエスカレーターもなく、階段に手すりもない商店もある。大変なので何とかできないか。 <p>【公共交通について】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①障がい者にとって最大の問題は必要とする移動の問題である。デマンド交通も利用しているが、全く使い勝手が悪い。その制度につき、できることなら見直してほしい。 ②デマンド交通の使い勝手が非常に悪い。久喜地区に行くことが多いのに、デマンド交通はほとんど使えないので、見直しはできないか。 ③デマンド交通を久喜地区でも行っていただきたい。 ④障がい者の移動にデマンド交通があるが、帰り時間が不明(病院)で利用できない。こまめな移動体制が必要。 ⑤デマンド交通は帰りの時間が不明だと利用できないので、たくさんつくるなどしてほしい。 ⑥バスなどの公共交通機関のフリーパスを考えてもらうことはできないか。 ⑦高齢者(75歳から80歳)に対し、せめて久喜駅、桶川駅や栗橋駅等に行く、一般バスに乗れるフリーパスを発行することを検討してほしい。 ⑧足が悪いので、車内に貼る駐車場利用証をもらいに警察に行ったが、5級では駄目と言われた。おかしいのではないか。 <p>【施設整備について】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①特別養護老人ホームが足りないのではないか。 	<p>【バリアフリーについて】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①学校では、段差や、障がい者用トイレがないところが多い。(栗橋南小・久喜東小では、体育館に洋式トイレさえない) ②小学校の校舎が使いづらいため、障がいのある子どもがいたときに受け入れられないのではないかと感じた。 ③子どもが「ゆう・あい」に通っているが、設備にいろいろ問題があるので、予算を見てもらいたい。 <p>【施設整備について】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①通所施設に高齢の障がい者が通っているが、仕事をするのも難しくなっているし、職員の手も取られる。年齢の高い方が通う場所があるようになるか、日中もグループホームにいられるようにできないか。 	<p>【バリアフリーについて】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①あんご工房の場合は、住・生活環境ともに恵まれていません。 ②作業所の建物が耐震基準にそぐわない古いところなので、きちんとした広いところに入りたいと考えている。 <p>【施設整備について】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①自立できることを目標にしたいが、グループホームの待ち時間が長く、入所できない。もっと施設の数を増やしてほしい。 ②グループホームの数が少なく、内容も充実していない。職員が辞めることも多く、発展途上で利用する気になれないのが現状である。自立の一步としてお任せできる環境を整えてほしい。 ③グループホームなどを、民間委託でなく、国や県・市の管轄で作ってもらって充実すると思う。精神疾患を持つ人は施設での生活で充実できる人と地域の中で一人でも支えてもらいながら生活できる人など様々なので、ケースワーカーなどがその人にあった住環境を整え、相談にのっていただきたい。そこには行政・医療・福祉・教育・民生委員・自治会区長など、様々な人の関与をいただきたい。 ④長期入院をしている人はまだ多いので、地域移行、地域定着に関する事業を充実できればと思う。 ⑤地域で暮らしている人も、ずっと入院している人もいるが、観念的にこうでなければいけないというのではなく、その人にとって一番良い環境を整えてほしい。 <p>【住環境について】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①単身生活を行うため、不動産屋に「生活保護」や「障がい(特に精神障がい)がある」と伝えたと、貸してもらえないと聞いたことがあります。審査が厳しくなっているのが現状です。 ②単身生活をしようとしても、生活保護や障がいのことを伝えると貸してもらえないということは随分前からあった。市から不動産屋に働きかけてもらうなど、何か良い方法はないか。 ③一人暮らしのために不動産屋に行っても、生活保護だったり障がいで支援を受けていると審査が通らなくて借りられないことがある。そのあたりの理解や保証人のことが、一人暮らしに向けて難しいところだと感じる。 ④生まれたところで育ち、その家で最後まで全うするのが理想だが、障害基礎年金では難しい。働きたいのに、働くとも年金が減ったりなくなったりするのは不条理ではないか。
④保健・医療（検診・医療体制）について	<p>【保健について】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①合併前は旅行にも保健師や民生委員が同行してくれたが、合併してからはそのような話もなくなった。役場の雰囲気が変わり、自分たちの団体は自分たちで生きていかなければならなくなったように思う。 <p>【医療について】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①予防接種などを見直してほしい。 ②予防接種補助について説明してほしい。 ③私は血液透析患者です。すばらしい日本の保健・医療制度のおかげで生きていられる事を感謝しております。 ④年金によって、高額医療サービスがない。 ⑤久喜市に緊急病院はありますか。栗橋に障がい者医療相談所を設けてほしい。 ⑥障がい者慢性期のリハビリ施設がない。 ⑦良く行き届いていると思う。 ⑧良く行き届いているという意見もあったが、若い人にあまり迷惑をかけたくないという気持ちもあっての発言だと思う。 	<p>【保健について】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①広報に載っているコアラについては、知的障がいや発達障がいという記載がなかったので、役場の人に聞くまでは相談に行けなかった。もっと周知してほしい。 ②久喜市のことばのグループの参加人数を増加してほしい。さらに、ことばのグループの保護者会を中学卒業までではなく、そのあとの就労まで話を出来る場を設けてほしい。 ③ことばの相談に来ているご家族には、こういう人達の集まりですよ。と話をしても良いと思いました。 <p>【医療について】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①3歳児健診などで発達障がいの疑いなどあった後、親が調べたい時に、どこの病院へ行けば良いのか、誰に相談すれば良いのかを示す人が居るとありがたいです。今、現在、私は皆さんに助けられ繋がりがありますが、以前は、誰に教えてもらえば分かるのか、分からなかったのです。 ②ダウン症、発達障がい等の各障がいの専門医が近隣に必要である。大変なケースは遠方の大学病院等になってしまっても仕方がないが、日頃は、30分以内で行ける病院がほしい。埼葛北地域の課題として、早期に解決してほしい。 	<p>【医療について】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①血液検査の費用も自立支援制度の中に入れてください(東武丸山病院)。 ②薬を服用する上で血液検査を定期的にする必要があるが、その費用は別にとられるので、自立支援医療などの中に入れることはできないか。 ③精神の病は単一ではなく、統合失調症に至っては、いまだ原因も分からず、薬の決め手となるものはない。早期発見、早期治療が大切。精神科に行くには抵抗があれば、まず内科に行くように示唆するような、資料や記事などを広報に載せたり、学校のスクールカウンセラーを増員したり、医療との連携を密にすると、病も重病化しないですむ。ACT(24時間体制の訪問系・医療サービス)の早期実現を希望する。 ④早期発見・早期治療が大切である。発達障がいの人の4割は精神障がいに移行していくので、小さい時から気をつけて重症にならないようにする必要はある。 ⑤精神科通院、服薬をしていると、内科等の受診や入院を断られてしまうことがあります。行けても遠方で通いづらく中断してしまうこともあります。 ⑥糖尿病など他の内科疾患を抱えている人が結構いる。久喜市の病院では受けてくれるところが多い印象がだが、理解を得られず対応できないという場合もある。 ⑦精神障がい者は服薬量が多い人も多く、真面目に飲んで副作用を起こすことが多いのが残念である。薬をたくさん飲むと副作用が強くなるので、地域で連携して重症化しないようにすることが大切である。

団体名 質問項目	1. 身体障がいの団体 (久喜市久喜身体障害者福祉会、久喜市菖蒲町身体障害者福祉会、久喜市栗橋身体障害者福祉会、久喜市鷲宮地区身体障害者福祉会)	2. 知的障がいの団体 (久喜市久喜手をつなぐ育成会、久喜市菖蒲手をつなぐ親の会、久喜市栗橋手をつなぐ育成会、鷲宮手をつなぐ親の会)	3. 精神障がいの団体 (あいの会、わかちあいるーむ、埼葛北障害者生活支援センターベルベル、あんど工房)
⑤教育・保育(特別支援教育、障がい児保育など)について		<p>【教育について】</p> <p>①支援級で(特に立ち上げの時)、教材を最低限揃えてもらいたい。ない場合の親の負担金が多い。さらに、知識のない担任だった時に、親が教材を買って渡さないと、子どもに適した学習をしてもらえないことが多いので。</p> <p>◆特別支援教育就学奨励費について</p> <p>②所得によっては支給されない(教委学務課にも問い合わせして、所得等級も聞きました)</p> <p>③いくら、等級があっても療育に通わせたり(保険が利かないものの方が多い)家計は大変です。また、支援学級は普通級の子より準備を1.5倍ぐらいします。所得の制限をなくしてほしい。</p> <p>◆学級の在籍について</p> <p>④特別支援教育は必要だし、個別支援ができるよう支援学級の意味も分かります。でも、在籍をわざわざ支援学級にしなきゃいけないのでしょうか。アメリカのように、在籍は皆、普通級の同じクラスにし、個別のニーズに合わせて別室に行くとかにはできないのか。それが本当の多様な子達との共生なのでは? そうしなければ、普通級の先生達はいつまで経っても多様な子達の本質は分からないと思います。</p> <p>⑤普通級にいるお子さんにも、保護者の依頼があれば、プランABを作り、積極的に支援してほしい。(支援員がついていないお子さんに関しても)</p> <p>⑥普通級、支援級でも、支援プランについては保護者と面談しながら、Plan・Do・Seeをしてほしい。効果がないことをやり続けて、発達があがらなかったり、本人を苦しめているケースも多い。</p> <p>⑦発達障がいのお子さん(診断有無を問わず)が増えているので、コミュニケーションツール、視覚支援教材等を積極的に使ってほしい。併せて、発達障がいのお子さんについて、事例研究会など、校内や地区ごとに開いて、先生方にプロとしての支援ができるようになってほしい。</p> <p>⑧発達障がいのお子さんの中学・高校での支援・相談場所が少ない。高校進学・在学中に関しては、思春期とあいまって、家族・本人の精神的負担が多い。相談センターや、中学での通級教室など、作っていただきたい。</p> <p>⑨支援級を立ち上げたときに十分な教材がなく、親が買って渡していると負担が多い。市で貸し出すなどのサポートをしてほしい。</p> <p>⑩支援級でテストを受けていない子どもが多い。年度初めに受けるかどうか声をかけるシステムをつくってほしい。</p> <p>⑪小学校で、子どもがダウン症だからといって保護者が送迎を強制され、負担になっている。</p> <p>⑫小学校で障がいについての勉強をしたときに、息子の発達障がいについても話してほしいと学校側をお願いしたが、学校全体では難しいと言われた。</p> <p>⑬発達障がいなど周りのサポートが必要な子がいることを、小学生のうちから勉強する機会をつくってほしい。</p> <p>【保育について】</p> <p>①幼稚園等で、積極的に障がいのあるお子さんを受け入れ、より適切な支援をしていただけるように、「私立幼稚園特別支援教育費補助金」を周知していただきたい。</p> <p>②W幼稚園に入園とプレ幼稚園について電話で尋ねたら、プレについては健常児に手がかかるので、障がいのある子まで見てもらえないと断られた。プレはダメだが、入園に関しては面接してから許可が下りれば入園可とのことだった。</p> <p>③K幼稚園は障がいのある子を扱ったことがないから、入園はできないと断られた。</p>	<p>【教育について】</p> <p>①学校の中で、特に小・中学校で、発達障がい児についての理解が深まってきていることは良いことと思う。早期発見、早期治療につながり、大人になっていく過程の中で、精神疾患へと重病化しないように教師も研鑽することが大切。心に不調を訴える子どもを一刻も早く見つけ支えてあげられるのは、やはり教育現場の責任は大きい。現在の教師の中で、どれくらいの方が精神の病についての正しい理解と知識をもっているのか危惧される。特別視しないで向き合ってもらいたい。</p> <p>②大人になってからではなく、子どもの時に障がいのある人との交流を持つことが大切と考えます。できれば普通学級に障がいを入学させていたいただきたいです。</p> <p>③障がい児も普通学級と一緒に入学させるという案に賛成である。</p> <p>④精神障がい者は小中学校くらいまでは普通にみんなと一緒に勉強しているが、突然発症して登校拒否になったりする。小中学校で精神障がいについての教育をやってもらいたい。</p> <p>⑤発達障がい児のいじめやひきこもりについて報道されているが、先生や友達の対応の仕方などについての教育ができていれば、未然に防げるものもあるのではないかと。</p> <p>⑥就労を目的とし、生産価値のある人間を素晴らしい人間とするのであれば、障がいは脱落者ということになる。就労を目的にするのではなく良く生きる、生きていることだけでも価値があると教育であってほしい。</p> <p>⑦いろいろな事業所が立ち上がるときに、精神障がい者の特徴を職員に理解されていないためにうまくいかなくて辞めてしまうことが多い。そのような理解を深めていくことも大事ではないかと。</p>

団体名 質問項目	1. 身体障がい者の団体 (久喜市久喜身体障害者福祉会、久喜市菖蒲町身体障害者福祉会、久喜市栗橋身体障害者福祉会、久喜市鷺宮地区身体障害者福祉会)	2. 知的障がい者の団体 (久喜市久喜手をつなぐ育成会、久喜市菖蒲手をつなぐ親の会、久喜市栗橋手をつなぐ育成会、鷺宮手をつなぐ親の会)	3. 精神障がい者の団体 (あいの会、わかちあいるーむ、埼玉北障害者生活支援センターベルベール、あんご工房)
⑥雇用・就労(就労先や就労支援など)について	<p>【雇用について】</p> <p>①障がい者の工賃の考え方が変。最低賃金を作ってほしい。 ②栗橋サルビアの従業員に最低保証金額を払ってほしい。 ③作業所の工賃が安過ぎる。</p> <p>【就労支援について】</p> <p>①身体障がい者で就業につけない人に就労支援してほしい。 ②障がい者がハローワーク春日部に行くのが困難なので、雇用案内などを鷺宮総合支所に作ってほしい。 ③ハローワーク春日部に行くのが困難だという意見は、運賃がかかるということである。鷺宮支所につくってもらえば、栗橋地区からも安くいくことができるという意見だった。</p>	<p>【雇用について】</p> <p>①障がい者も受け入れてくれる企業を久喜市に増やしてほしい。また、そういった企業向けの研修会、就職斡旋の機会を増やしてほしい。さらに、就労を見据えて進路指導ができるように、中学の先生にも、情報を提供する場を設けてほしい。 ②東京都ではダウン症の子どもでも一般企業で就労できているという話も聞くが、久喜では難しいという話を聞いている。</p> <p>【就労支援について】</p> <p>①支援には満足しても雇用先での一部の不理解や障がい者への偏見に苦労しました。 ②自立支援法になる前は、重い子も軽い子もみんな一緒だったが、自立支援法になってから就労継続支援や生活介護などに分かれた。軽い子が増えているが、重い子が馬鹿にされたり、トラブルが起きたりしている。 ③中学校の先生方が持っている高校や就労についての情報が少ない。企業などいろいろな方たちが先生方と情報交換してもらえるとありがたい。</p>	<p>【雇用について】</p> <p>①どこにでも就労すればよいのではなく、その障がいの特質をよく見極めた上で、就労につなげてもらいたい。就労につながっていく精神障がい者は2~3%程度にすぎないかもしれないが、少しずつでも雇用していただきたい ②雇用形態も企業と相談・サポート、また障がいについてよく理解していただいた上で、就労に結びつくことよい。障がい者にとって究極の目標を就労にしておくことと厳しい現状であるということは、我々家族の側も認識しておく必要もあると思う。(福祉的就労を望む) ③働きたいという希望を持っている方はたくさんいます。しかし、状態により、フルタイムで働くことが難しかったり、周囲の理解が受けられず、就労できないことも多いです。周囲の理解や短時間・日数が少なくても良い就労先(福祉サービス含め)が増えるとよいと思います。 ④精神的就労は難しいのが現実です。 ⑤精神障がい者の就労は本当に難しいが、ジョブコーチ制度ができて少しずつ改善しているように思う。 ⑥働く喜びはやはり収入を得ることだと思う。国からも補助を出してせめて時給200円位になれば良いと考えている。 ⑦企業から週5日の仕事の希望があっても、再発の懸念から医師の就労許可が出ないこともある。</p> <p>【就労支援について】</p> <p>①福祉サービスでも株式会社等の参入が多くなり、どの障がいでも同様かもしれませんが、障がい理解やその人に合った対応等、不十分など多いように感じます。 ②働く喜びを感じたいという希望は非常に多いが、症状の波があったりして長期間の就労が難しい方も多いので、そのようなところの理解も進むと良い。 ③あんご工房でも就労を目指すことは謳っているが、伸びる子は少しずつ伸ばし、止まっている子はそれはそれで人生なのだ話し合っており、外で打ちのめされても戻って来られる場所という形である。</p>
⑦生涯学習・スポーツ(生涯学習、スポーツ・レクリエーション、芸術文化活動)について	<p>①久喜市4地区合同の障がい者スポーツ大会やレクリエーションを、年1回行ってほしい。 ②福祉用具を使って、絵・点字・音声をやってほしい。 ③地域福祉で生涯集える場所を設けてほしい。 ④埼玉県交流センターで、自主的に勉強でき、スポーツなどでもできる場所を栗橋につくってほしい。 ⑤加須げんきプラザのような施設を栗橋地区にもつくってほしい。 ⑥久喜市教育委員会の中にパラリンピックの養成と指導員を置いてほしい。 ⑦合併前は久喜市で運動会や作品展などのレクリエーションをやっていたが、合併後はそうしたものが一切なくなった。せつかく4地区あり、交流もしたいので、ちょっとしたレクリエーション的なものがあると良い。 ⑧高齢者はいまさら感があります(高齢者は演劇や映画鑑賞に行きたくてもなかなか行けないので)。</p>	<p>①菖蒲温水プールは車椅子対応してくれるが、鷺宮温水プールは他の人に迷惑になると言って、対応が悪かった。同じ久喜市なので、同じ対応をしてほしい。 ②障がい者が、積極的に参加できる、スポーツ・レク・文化活動の場を、身近なところで増やしてほしい。 ③一般の芸術文化活動へ入会したいが、入りづらい。 ④生涯学習の中にカラオケクラブや陶芸教室などがあるが、障がいのある人は入りにくく、文化活動のようなものをしていけない部分がある。 ⑤発達障がいの場合、しおりやリーフレットだけでは情報収集する機会があまりない。支援学校に行っていれば、情報が得やすいと感じることがありました。</p>	<p>①障がいの有無にかかわらず、人は人として、生涯にわたって学習することが大切と思う。スポーツも得意な人、好きな人は大いに参加し、能力を高めてほしい。地域の人のコミュニケーションをとるためにも地域の人の自然なふれあいができれば理想である。しかし、すぐに無理ならば、同じ障がいをもつ人同士のスポーツやレクリエーション、芸術文化活動など、様々な市の施設で取り上げ、公共の場でPRして呼び掛けてほしい。 ②活動に参加したいと感じている人は多くいますが、機会がなかったり、参加した時、なにかあったらの不安から見送っている人もいます。以前よりは増えているのかもしれませんが、情報を知る機会があまりなく、そういう活動があること自体を知らない人も多いのではと思います。 ③障がいのために何もできない、就労も難しいとなると、生きている価値や楽しみがないことになる。就労ができなくても、これをしていたら楽しいということが生活の要素として必要である。 ④余暇活動の充実のために、市内や地域のさまざまな活動に当事者が参加できる機会があると良い。いきなり参加しようとしてもハードルが高いので、きっかけづくりができると良い。 ⑤当事者だけの活動ではなく、地域に出たの地域交流にもなり、理解にもつながるのではないかと。</p>

団体名 質問項目	1. 身体障がい者の団体 (久喜市久喜身体障害者福祉会、久喜市菖蒲町身体障害者福祉会、久喜市栗橋身体障害者福祉会、久喜市鷲宮地区身体障害者福祉会)	2. 知的障がい者の団体 (久喜市久喜手をつなぐ育成会、久喜市菖蒲手をつなぐ親の会、久喜市栗橋手をつなぐ育成会、鷲宮手をつなぐ親の会)	3. 精神障がい者の団体 (あいの会、わかちあいる一む、埼玉北障害者生活支援センターベルベル、あんご工房)
⑧安心・安全なまちづくり(災害、防犯・防災対策)について	<p>【防災について】</p> <p>①地震の時、逃げる場所がないので、なんとかしてほしい。</p> <p>②障がい者のための防災対策のセミナーを行ってほしい(寝たきりの利用者がある場合、どうしたらよいか等)。</p> <p>③平時は安心・安全な街として、ほぼ十分に機能している街と思うが、いつどんな災害が起きるか、その時はどうすれば良いか、常に不安はある。身近に大きな犯罪等が起きていない点は、市の対策がしっかりと機能しているのかとも思っている。パトカーや消防車等、よく見掛けており、安心している。</p> <p>④利根川が氾濫したとき、避難する場所(高台)及び避難させてくれる人を決めてもらいたい。</p> <p>⑤大水害が起きると、高台がないのでみんな死んでしまうかもしれない。避難所を設けてもらいたい。</p> <p>⑥避難場所の連絡とか、災害別(地震や水害とか)を考えなければと思います。</p> <p>⑦栗橋の利根川のスーパー堤防工事中であるが、身体障がい者の意見を聞いてほしい。</p> <p>⑧スーパー堤防の工事をしているが、そのような機会に身体障がい者が意見を出せる場があれば入りたいという人がいる。</p> <p>⑨障がい者名簿をもらいたい。どこに誰が住んでいるのかわかる名簿があれば、災害時に助けることができるかもしれない。</p>	<p>【防災について】</p> <p>①市が障がい者に対するの対策をどのように考えているのか知りたいです。実際、災害にあった方の話や困ったこと、不便だったところなどの情報を具体的に教えてほしい。</p> <p>②災害時、知的障がい者の対応について、周知してほしい。</p> <p>③福祉避難所の整備をしてほしい。障がい者とお年寄り、一緒に生活は難しい。避難訓練の際に、障がい児者の安否確認、避難所への誘導・避難所での過ごし方のシュミレーションを実際にやっていただきたい。(各施設、親の会等によびかけて)</p> <p>④大きな災害があったときに、障がいのある人たちがどのように避難してどう思うかという思いは報道されない、どうなっているか全然わからない。</p> <p>⑤民生委員も高齢の方が多く、避難訓練をしても実際には高齢者や障がい者を避難させることはできないのではないかと。</p> <p>⑥避難したときに高齢者や障がい者にどのように対応するのか、体験しないとわからないところがあるので、一度そのような訓練をしてほしい。</p> <p>【防犯について】</p> <p>①各家庭が積極的に近所や外に出れば、それだけでも安心、安全に繋がると思う。</p>	<p>【防災について】</p> <p>①災害時に安心・安全な福祉避難所を指定してほしい。以前、役所に確認した時には、特別に障がい者用の避難所はまだ準備されていないとのこと。早期に設定していただきたい(施設にいる方の援護も必要)。精神医療も避難できるように、整備してもらいたい。精神の病の人は一般の人と共に同じ場所で避難生活はとて難しいのが現状だと思う。</p> <p>②災害があった時の不安として、通院はできるのか、常に服用していた薬を続けることができるのか不安な声をよく聞きます。また、集団での行動を苦手とする方々も多くいます。自分から助けを求めることが難しい方もいます。その様な方々へのサポート体制が必要だと思います。</p> <p>③災害時などには誰もが異常な精神状態になり、役場も作動しにくいので、もともとパニック症状のような当事者は大変な事態になる。そのような人のための場所を用意してほしい。</p> <p>④災害時には服薬と環境の整備が大事である。障がい者などサポートが必要な方をどのように把握しているのか。災害時にサポートするための体制整備が必要ではないか。</p> <p>⑤障がいや病気、服薬についてわからないとき、どのように対処すれば良いか。精神障がいであることを示すカードをつくって、病気の名前や症状、飲んでる薬を書いてすぐ持たせられるように準備しておいた方が良いのではないかと。</p>
⑨障がいへの理解(周囲の理解や地域社会のあり方)について	<p>①70代の肢体不自由なので、カートに頼っての移動。障がい者駐車場に一般の人が堂々と駐車しているので、何か方法を考えてもらいたい。</p> <p>②スーパーで車椅子の方を見掛けるようになりました。車椅子の方が1人の場合、棚の上の物が取れないので、スーパー側に何か配慮してくれると助かると思います。</p> <p>③アリオ、モラージュのフードコートに障がい者用のテーブルが用意されていますが、若い人達(健常者)が陣取って食事しています。1人で利用する事が多いので、杖を突いて運ぶのに大変です。</p> <p>④スーパーなど、もっと車の停める場所を増やしてほしい。</p> <p>⑤一般の人が障がい者の駐車場に堂々と停めているので何とかしてほしい。</p> <p>⑥駐車用の車いすのステッカーは誰でも買えるので、車いすではない人もステッカーを貼って停めているのをよく見かける。車いすの人にしかステッカーを売らないようにしてほしい。</p> <p>⑦健常者の人にはなかなか理解してもらえないので、個性として考えていただければと思います。</p> <p>⑧あの人、かわいそうにとは言ってほしくない。好きでなったのではない。</p> <p>⑨部分的に理解は得られている。しかし、継続的な理解を得る事は難しく、所詮無理なことと理解している。しかし、障がいは一時的なものではなく、24時間、しかも終身、身体から離れることはない。結局、自ら納得を得るしかないと考えている。</p> <p>⑩障がい者にきめ細かい指導をお願いします。</p> <p>⑪やさしい言葉で接してほしい。専門用語は使わないでほしい。</p> <p>⑫もっと障がい者にやさしくしてほしい。</p> <p>⑬やさしい言葉で接してほしい。英語は全く駄目なので、できるだけ日本語で書いてもらいたい。</p> <p>⑭身体障がい者が地域で生きやすく生活のできる決まりを作ること。</p> <p>⑮視覚障がいの方が小中学校で障がいについての説明をしているが、町内会などでも障がいについてわかっていない人がいるので、そのような説明をすると良いのではないかと。</p> <p>⑯障がい者マークの下に「久喜市」と印刷して身体障がい者に無償で配ってはどうか。</p> <p>⑰各町内会で検討してもらい、交流できるように働きかけてほしい。</p> <p>⑱若い身体障がい者を会に誘うことがあるが、自分には関係ないと言われる。会に参加すれば少しは気が収まるのではないかと。</p>	<p>①小学4年生とかで、視覚障がいのことや、聴覚障がい、車イスのこと、認知症のことを勉強するときに、発達障がいのことを子供たちに少しでも話す機会を作ってほしい。見た目で見えない、身近にいないと知らない、そういう子供たちの中で今、増えてきている発達障がいの子供たち。小学生の時に少しでも話を聞くことで、その子供たちが発達障がいの人達を支えていける人になるかもしれない。そう願わずにはいられません。それと同時に、地域、保護者への話も出来たらもっと良いです。</p>	<p>①人と自分と異なる人に、奇妙な目を向け、無理解になり、気の毒と思ったり、同情の念を抱く。差別し、偏見をもつ人もいる。当事者をもつ家族でさえも、障がい者を隠したり、心なしたりする人もいる。精神障がいは、社会のお荷物、家族のお荷物なのだろうか。知ることは愛することと言う。周囲の人も地域の社会も障がいを超えて、一人の人間として素直にまっすぐ理解というか、知ってほしい。同じ悩みを分かち合い、支え合う。そして、病気の正しい知識を学ぶことが大切である。家族会の意義もそこにあると思う。当事者もどンドン地域社会に出て行ってほしい。障がいへの理解をストレートに早期に学ぶには、やはり小・中学校の福祉教育の充実も大切である。もっと身近なものに感じてほしい。ボランティアも大いに養成してほしい。</p> <p>②徐々に理解されるようになってきたと思いますが、まだ近所等の理解は十分でないと感じています。何十年も家族だけで支えてきた家庭もありますし、近所の人には話せなくて、「初めて打ち明けました」と話される方もいます。理解が進み、地域みんなを支えられるようになると、当事者も家族も安心できるように思います。</p> <p>③家族会の意義は自分の思いやストレス、悩み、苦しみを話すことで、分かち合い共感できる場所にある。結束して何かをやるという時代ではないかもしれないが、違った形で残していくべきではないか。</p> <p>④近所に伝えず家族だけで支えてきたという家庭はまだ少なからずある。家族だけではなく、家族会なども利用して、近所の理解も深め、地域で支えていくのが一番良いのではないかと。</p> <p>⑤最近では民生委員の協力で見守りや協力体制ができることがすごくある。</p>

団体名 質問項目	1. 身体障がい者の団体 (久喜市久喜身体障害者福祉会、久喜市菖蒲町身体障害者福祉会、久喜市栗橋身体障害者福祉会、久喜市鷲宮地区身体障害者福祉会)	2. 知的障がい者の団体 (久喜市久喜手をつなぐ育成会、久喜市菖蒲手をつなぐ親の会、久喜市栗橋手をつなぐ育成会、鷲宮手をつなぐ親の会)	3. 精神障がい者の団体 (あいの会、わかちあいるーむ、埼葛北障害者生活支援センターベルベル、あんご工房)
<p>①久喜市が施策展開を進めるうえで、特に重点的に取り組むべき課題は何だと思いますか。</p>	<p>【久喜駅西口駅前ロータリーについて】 ①久喜駅西口エレベーターがなぜ離れた場所に設置したのか。お年寄り、体の不自由な方には大変です。歩くのに大変なのに、なぜこんなに離れた場所にとっています。障がい者の立場をまったく考えていない。 ②広場も車椅子で通るのは危ないです。斜めになっていたり、でこぼこしていたり、駅の階段も上り・下りのエスカレーターもあってほしい。でなければ、エレベーターを駅寄りの近いところへ移動してほしい。障がい者の意見を聞いて取り組んでほしいです。税金の無駄にならないように切にお願いします。</p> <p>【公共交通について】 ①循環バスももう少し便利に使えるようにしてほしい。 ②特に都市部以外から医療機関のある市街地や鉄道駅に出る場合、収入の少ない高齢者に対して、一般のバスに無料で乗れるフリーバスの発行をぜひお願いしたい。 ③10円、100円単位で生活している人にはバスも決して安いものではない。無料で乗れるフリーバスなども考えてほしい。 ④旅行の際に県のバスを無料で利用できるのは非常に助かるが、県の指導で乗車位置を1か所にしてほしいと言われた。頼んで何とか2か所にしてもらったが、そんなに遠くに行くわけでもないのに、何かおかしいのではないか。 ⑤デマンドバスは会員でないと利用できないし、会員になっても利用範囲が狭い。久喜地区に行きたくても駄目だというが、同じ久喜市なのだから久喜市全体で利用できるようにしてほしい。</p> <p>【市の公用車について】 ①久喜市でもバスを持っていたほうが良いのではないか。それを使えば旅行に行くのにも経費が浮くし、久喜市の宣伝のためにも良いのではないか。</p>	<p>【理科大跡地について】 ①障がい者が安心して暮らせること。 ②理科大跡地にできる「子育て教育センター」において、療育や相談体制の充実を図るとともに、教育・福祉・医療の連携を行うコーディネーター的な職員を常駐させてほしい。 ③上記のセンターの他、既存の相談事業所の専門員と、各学校のコーディネーターが中心になって連携をはかり、保護者と先生方・福祉関係者が話しあって、よりよい支援ができるようにしてほしい。 ④子育て教育センターには非常に期待しているので、寄り添える職員を配置してほしい。</p> <p>【相談体制について】 ①福祉課・保健師・家庭児童相談員の数の確保と、異動スパンを長めにしていただいて、安定した相談体制を構築してほしい。 ②それぞれの立場の人が頑張っている、連携が取れていないことが多い。話し合う場を積極的に設けてほしい。</p> <p>【教育について】 ①コミュニティスクールが推進されているので、各地域ごとに、支援のきちんとした継続をめざした先生方の情報交換・研修の場を、さらに積極的に設けてほしい。中学にあがった時に、支援がゼロからのスタートだと、本人も保護者も精神的な負担が大きいので。</p> <p>【施設整備について】 ①施設の設備に予算を見てほしいと話したが、特に大変なのはトイレが少ないことだということである。利用者にとってはかなりきついようなので、何とかしてほしい。</p>	<p>【障がいへの意識について】 ①精神に障がいのある人の中には、知的能力の優れている人も多く、理性的に言動できる人も多い。そういう人を通じて、生の声を久喜市の施策にいかしてもらいたい。久喜市の施策に生かしてもらいたい。ピアサポート、ピアカウンセリングなど、障がいのある人もサポートされる側でなく、サポートする側に立つこともできる。施策推進協議会に出席して、自分の意見を主張してほしい。精神障がい者にもっと光を当てて、公の場に出て、意見ができるようにチャンスを与えてもらいたい。リーダー的存在が出てくることを待っているし、支援したい。障がい者自らによる施策の展開が望ましい。 ②障がいを隠すのではなく、オープンにしてお互いの能力をシェアできるような体制が組めると良いのではないか。上から目線ではなく、平等の横のつながりで考えてもらいたい。 ③精神障がいも、以前から見れば、三障がいという形で他の障がいと一緒に扱われるようになり、随分変わってきたと思う。</p> <p>【支援について】 ①ただ、補助面では身体障がいや知的障がいとはかなり差がある。その差を何とか縮めてほしい。</p>
<p>②計画策定にあたり、ご意見がありましたらご記入ください。</p>	<p>①デマンド交通が利用できる場所とできない場所がありますが、地域よりもお年寄り、障がい者の立場に立って、考えてほしい。自分で食料などを買い物した時、帰りに荷物が重くて帰ることができない。これからお年寄りが多くなります。また、障がいの程度によっては、自分で買い物が出来るが、荷物を持って帰ることができません。デマンド交通があればいい。それによって、お年寄り、障がい者ももっと外に出れる機会があるのでは、また健康に繋がると思います。ぜひ考えてください。 ②合併したのだから、久喜市外の人とも交流できるようにしてください。</p>	<p>①年齢的にもいろいろすでに確立されてしまっていて、意見がほとんど出ません、ご協力できず、申し訳ありません。</p>	<p>①施策を実際に展開する上で、重要なことは支援する人材をできるだけ多く集める事が急務。人が足りていない。「障がい者施策充実のために必要なこと」という実態調査の項目に対して、一番多かったのが「障がいや難病に対する理解・促進」、次に「医療機関の充実」、次に「経済的な支援の充実」「相談支援体制の充実」を続く。この結果を認識した上で、課題に取り組んでいただき。その後の検証もしてほしい。ともに生き、ともに暮らす共生社会づくりを目指すにはサポートする場所と人が必要条件となる。もっとサポートして下さる場所と人(医療従事者・福祉・行政の方)がもっと関わって、ネットワークの中で、実現できることだと思う。訪問支援のスタッフ不足、行政・医療・福祉・民間ともに支援してくれる人手が不足している。そのため、支援が行き届かない思いがあっても届いていないのが現状である。 ②精神障がい者が身体障がい、知的障がいと比べると遅れをとっているのは、精神障がい者が本当の病気として認められなかった現実がある。精神障がいは目に見えないし、良いときと悪いときがあったりして、なかなかサポートにつながらなかったということもある。 ③相模原の事件は、精神障がい者が差別を受け、行き届いていない部分もあつての事件かと思ひ、衝撃的だった。 ④自殺をさせない国になっていけば良いと思う。</p>

団体名 質問項目	4. 視覚障がい者の団体 (久喜市久喜身体障害者福祉会 視覚部会)	5. 聴覚障がい者の団体 (久喜市聴覚障害者協会)
①障がいを理由とする差別解消について	<p>①タクシーで乗車拒否されたり、遠回りされたり、目的地ではない場所で降ろされたり、障害者手帳を見せると嫌がられることがある。そのようなことがないようにタクシー会社の責任者に伝えてほしい。</p> <p>②視覚障がいがあることによって、物事の理解度が低いように見られたり、上から目線で話されたりすることがある。</p> <p>③金融機関で手続きに家族の同席を求められることがある。柔軟に対応してほしい。</p>	<p>①差別でなく理解不足。 ※市内において、約30年程前、差別はありました。不動産でした。しかし、今はほとんど情報がありません。</p> <p>②障害者差別禁止法がスタートして大体1年が過ぎたが、私の場合は交通機関を使わないので実感はあまりない。</p> <p>③昔はアパートを借りるのに冷たい対応をされることがあった。店によっては今でもまだそういうことがある。</p> <p>④タクシーの対応が悪く、嫌な顔をされるなど特に対応が冷たいタクシー会社がある。</p> <p>⑤団地の掃除のとき、聴覚障がい者が他の人よりも広い範囲の掃除を押し付けられるという話もある。</p> <p>⑥東京や神奈川では障がい者差別禁止のポスターを見るが、久喜市では見たことがない。</p>
②障害福祉サービスについて	<p>【障害福祉サービスについて】</p> <p>①同行援護の時間数をオーバーしないように計画を立てなければならないので大変である。時間が決まっていれば前もって知らせて使えるが、臨時の場合は断られることがある。</p> <p>②同行援護を定期的に利用していないせいか、全て断られてしまい、講習会への参加を断念したことがある。同行援護を提供する事業所やヘルパーが減り、制度をつくったのに利用できなかったり、利用しにくくなっている。</p> <p>③他の自治体では同行援護の時間数が100時間、150時間というところもあるので、もう少し時間数を増やしてほしい。</p> <p>④市が認めた大会などで別に30時間余分に利用できるということだが、事業所がそのことを理解していなかったため利用できなかった。</p> <p>⑤新たに視覚障がいを持って単独での外出が困難な人から相談を受けるが、制度のことをあまり理解していないようである。</p> <p>⑥タクシー券を取りに行くのにタクシー券を使うような状態である。できれば郵送してほしい。</p> <p>⑦タクシー券を使っていない人の分を必要な人に割り増して配付してほしい。</p> <p>【地域生活支援事業について】</p> <p>①日常生活用具のなかにIHキッチン、音声が出るはかりを入れてください。</p>	<p>【障害福祉サービスについて】</p> <p>①ガソリン券を使うとき、店によっては使う枚数を制限されることがある。</p> <p>【地域生活支援事業(意思疎通支援事業)について】</p> <p>①手話通訳がないときに呼べるコールセンターがあると良い。財団法人でそのような取組を進めていると聞いている。</p> <p>【市職員の研修について】</p> <p>①市の公務員は聴覚障がい者について理解しているかどうか。</p> <p>②新人研修ではなく、既存の職員にも障がい者について講座を開いてもらいたい。</p>
③生活環境(施設等のバリアフリーなど)・住環境(住まいや住宅など)について	<p>【バリアフリーについて】</p> <p>①久喜駅西口駅前大通り(20m道路)を、久喜駅に背を向けて、久喜駅から中央公民館に向かって1つ目の信号のある交差点のところ。この交差点の右側を歩いていて、交差点を渡りました。渡った後に、左に向き横断歩道を南に向かって渡ったところ、縁石がでっばって、足がひっかかってしまいます。</p> <p>②市内の点字ブロックの設置方法にいろいろな問題がある。凸凹しているところに点字ブロックを付けてもあまり意味がないので、道路を直すことが先決である。</p> <p>③音声信号が設置されていても、音量が絞られているところがある。</p> <p>【施設について】</p> <p>①高齢化して施設に入るようになったとき、視覚障がい者を受け入れる施設があるのか。視覚障がい者が施設で不自由なく介護を受けられるかどうか不安がある。</p> <p>②視覚障がい者が施設に入ったとき、心ないことを言われて精神的に負担がかかり、施設に居られない状態が出てくるのではないか。</p> <p>③施設整備については知的障がいや肢体不自由に重きがおかれてしまうように聞いている。視覚障がい者や聴覚障がい者の意見も十二分に聞いて施策の中に取り入れてほしい。</p>	<p>【施設について】</p> <p>①他市町村にろうの高齢者専門の老人ホームがあるが、久喜市からは遠い。ろう者専門でなくても、聞こえない老人が入れる施設が市内にあると良い。</p>
④保健・医療(検診・医療体制)について	<p>【医療について】</p> <p>①医療機関は講習や指導をきちんとしており、丁寧に対応してくれる。事前に病院に電話して行く日時などを伝えておくと、受け入れ体制や心づもりができるのでより良いようである。</p> <p>②薬を処方されたときに書類などが読めないのが困っている。「後でご家族に読んでもらってください」と言われる。</p>	<p>【検診について】</p> <p>①レントゲンを撮るとき、指示を伝えるために手話通訳者が鉛のエプロンをつけて一緒に入ってくれるが、検診バスは場所が狭いので入れない。指示が聞こえないので厳しい。</p> <p>【医療について】</p> <p>①聴覚障がい者カードを市につくってもらったので、病院で診察券と一緒に出しているが、病院側に理解がないのですぐ返されてしまい、活用できていない。</p>
⑤教育・保育(特別支援教育、障がい児保育など)について		<p>【教育について】</p> <p>①以前授業参観や面談のとき、学校側が理解を示して手話通訳者を準備してくれたが、担任が異動になったりすると、そのことが引き継がれないことがあった。</p>

団体名 質問項目	4. 視覚障がい者の団体 (久喜市久喜身体障害者福祉会 視覚部会)	5. 聴覚障がい者の団体 (久喜市聴覚障害者協会)
⑥雇用・就労(就労先や就労支援など)について	<p>【雇用について】 ①普通の人でも正社員と非正規の人が半分ずつだと聞いているが、障がい者では正社員がそれ以下の割合になってしまうのではない。 ②市役所は雇用率を達成しているということだが、視覚障がい者はいないのではないかと。視覚障がい者でパソコンに長けている人はたくさんいるので、雇用してほしい。</p> <p>【就労支援について】 ①個人の能力に応じて自分は何ができるという自立心ができてくれば、働こうということになってくるのではないかと。</p>	<p>【雇用について】 ①市内就労について、作業員(パート含む)も聴覚障がいのことについての理解が無い現状 ②職場の差別はまだ多い。聴覚障がいへの理解があまりなく、説明がわからなかったり、筆談をしてきていた人が辞めると、次にやってくれる人がいなかったりする。</p> <p>【就労支援について】 ①契約の更新や会議などのときには、手話通訳者を読んでほしい。または、声を文字に換えるものが使われてきているので、そのような配慮してほしい。</p>
⑦生涯学習・スポーツ(生涯学習、スポーツ・レクリエーション、芸術文化活動)について	<p>【スポーツについて】 ①健常者のスポーツサークルなどには、視覚障がい者は入りにくい。生涯学習課でそのような場合に支援したり、グループづくりの援助や紹介などをしてほしい。</p> <p>【レクリエーションについて】 ①バスを利用してどこかへでかけるような催しがあるが、付き添いがいないと申し込めない。市のイベントなどにヘルパーやガイドを派遣してくれると、視覚障がい者も簡単に参加できるのではないかと。同行援護のようなプランではなく、市の職員が手伝ってくれるだけでも十分である。</p>	<p>【生涯学習について】 ①以前社会福祉協議会の事業で教養講座への補助があったが、十年前に廃止された。講師を呼んだりすると費用が大変なので、補えると良いのだが、なくなって残念である。</p> <p>【スポーツについて】 ①ゲートボールをやりたいという高齢のろう者がいるが、普通のグループに入るのは難しい。やってみようという人がいても、紹介する場所も入れてもらえるチームもない。</p> <p>【芸術文化活動について】 ①市で体験教室をいろいろやっているが、大体平日なので仕事をしていると参加できない。土日にもやってほしい。</p>
⑧安心・安全なまちづくり(災害、防犯・防災対策)について	<p>【防災について】 ①起きてはならないことですが、心しておかなければならない重要な課題です。防災訓練も参加して体験できればと思います。障がい種別・等級によって考えも違いがあると思います。 ②避難所までの点字ブロックが中途半端なので、緊急時に避難するのが難しい。 ③地震のときに慌てて杖さえ持たないで避難したという話を聞いている。緊急時のために市役所などに白杖を保管してほしい。 ④地域の防災訓練のときに、地域の人が視覚障がい者に声をかけるようにしてほしい。見えないので自分たちから声を出すのは難しい。 ⑤避難所でどのような支援が受けられるのか、避難所に行ってからどうなるのかわからない。事前にわかっていると安心につながると思う。久喜市にこのような避難所があって、避難の際にどのような体制が取られるのかわかると良い。</p>	<p>【防災について】 ①地域の自治会の防災担当者などと全く会ったことがなく、防災訓練でも顔を合わせる機会がない。区長や民生委員と接する機会もない。</p> <p>【防犯について】 ①迷子や行方不明者のメールをよく見るが、もっと他の市の情報がほしい。</p>
⑨障がいへの理解(周囲の理解や地域社会のあり方)について	<p>①障害者手帳を持つこと(本人の心の整理も必要です)家族の理解によって違ってくると思います。障がい者になった人は、団体に加入することによって、問題点を知ってもらえると思います。 ②各学校に話に行っているため、子どもや近所の人から声をかけてくれるようになり住みやすくなった。 ③視覚障がい者は周りから声をかけてもらわないとこちらから挨拶することができないということを理解してほしい。 ④視覚障がい者の鉄道事故が起きてから、駅で声をかけてくれることが多くなったり、声かけ運動のテープが流れるようになった。 ⑤電車が着いたとき、別方面への電車に乗る人が扉の前に立ったまま動かないので邪魔になることがある。 ⑥空いている座席を探して、「どこか空いていませんか」と声をかけても、返事が返ってくることはない。 ⑦途中で失明した人は周りから変に見られているのではないかなどの精神的苦痛を克服するまでに時間がかかるので、役所のケースワーカーはやさしく話すようにしてほしい。</p>	<p>①スーパーマーケットほか、コミュニケーションの壁を感じる。 ②身体障がい者用の駐車場に止めようとする、車いす専用だからといって止めさせてくれないことがある。逆に聴者が駐車していることもある。 ③広報くきで小さくても良いので、障がい者に関する連載をしてはどうか。 ④市のホームページにミニ手話のようなものを導入してほしい。動画に出ている高校生などに手話を教えても良い。</p>

団体名 質問項目	4. 視覚障がい者の団体 (久喜市久喜身体障害者福祉会 視覚部会)	5. 聴覚障がい者の団体 (久喜市聴覚障害者協会)
<p>①久喜市が施策展開を進めるうえで、特に重点的に取り組むべき課題は何だと思えますか。</p>	<p>【支援について】 ①市の行事などに参加したい場合、市職員に移動支援してほしい。</p> <p>【社会の変化について】 ①自動車が静かになってきており、横断歩道を渡るときなどは怖い思いをすることがあるので、何とかできないか。 ②社会がどんどん静かな方に向いており、市の職員の方の声が聴き取れないこともある。高齢化で耳も遠くなっている人が多いので、大勢で距離があったりすると声が届きにくい。</p> <p>【音声式信号機について】 ①音声式信号機が十字の交差点で音声片側しか流れないところがあります。両方流れるようにと思います。また、場所によっては、音声信号機があればと思います。 ②音声式信号機が片方だけ鳴るところなどがあるので、きちんとしたものを取りつけてほしい。</p> <p>【ふれあいセンターについて】 ①ふれあいセンターについて、夜の時間(19時から21時)に利用した際は、バス停から玄関までが暗いので、閉館するまでの間、街灯を付けていただけたらと思います。</p> <p>【団体について】 ①新しく入ってくる人がいないので、お年寄りばかりになっているところが多い。会自体も楽しい会にしないと会員が増えないということもある。 ②個人情報が開示されないの、市役所の方から視覚障がい者の会があることを伝達して、一人でも多く若い人に入ってもらえるようにしてほしい。</p>	<p>【手話通訳について】 ①支所と社協のほうで電話リレーができるようにするというような新聞報道があった。手話通訳者が足りないし、人件費も高いので、電話リレーのようなもので対応できるものがあれば良いと思う。 ②市役所に毎週火曜日、手話通訳者がいるのはありがたいが、火曜日にこだわりのではなく、一週間でもっと自由に、用事があるときに行けると良い。</p> <p>【障がい理解について】 ①広報くきに障がい者について、市民への理解を促すため、隔月でも載せてよいと思う。</p> <p>【支援について】 ①6月から郵便料金が上がることもあり、協会の助成金を増やしてほしい。</p> <p>【施設整備につて】 ①ろう者、もしくは身体障がい者が入れる専門の施設がほしい。新しい施設ではなくても、既存の施設の中に組み込む形でも良い。</p>
<p>②計画策定にあたり、ご意見がありましたらご記入ください。</p>		<p>①委員会などにろう者が出席するとき、手話を見ながらだとメモをとれないので、メモを書いてくれる補助者がつくことを認めてほしい。 ②本日のヒヤリングのように、パソコンで発言内容を投影してくれるのは大変良い。</p>

団体名 質問項目	6. 難病の団体 (セルフヘルプグループたんぼぼ)	7. 発達障がい者の団体 (久喜市発達障がい児保護者サロン 凸凹じゃんぷ!の会)
①障がいを理由とする差別解消について	①治療研究が進んでいないこともあり、自分の症状を自分でコントロールできないむなしさ、わかってもらえないむなしさがある。	①障がい者は自分で選択できずに、ある程度決められて分けられるという風潮は、障がいについてそれほど分からない人が作った社会の仕組みなのかなと思う。よく知れば知るほど分けることが社会にとってマイナスになることが分かってくる。
②障害福祉サービスについて	<p>【障害福祉サービスについて】</p> <p>①障害者福祉サービスがもっと皆に解りやすく市役所から教えてもらえるといいと思う。よく知らない人もたくさんいる。サービスを教えて欲しい。わからないことが多すぎる。当事者に広く知れ渡るようにする必要がある。案として、広報紙に掲載する。障害者手帳を持っていない難病患者にも障がい者のしおりを配布する。当事者が勉強会を行い、自分たちで学習する。</p> <p>②悪い時、外出や家事などが困難な場合には、訪問サービスを利用したい。難病患者はよくなったり悪くなったりということを繰り返す。一日のうちで変動することもある。季節によって変わることもある。したがって、あらかじめ曜日と時間を決めなくてはならないホームヘルパーの派遣は、具合が悪いときに来てもらいたいと思っている難病患者にとって「使い勝手が悪い。事業所が病気の特性を知り、それに応じた支援を行う必要がある。案として、事業所向けの研修会を開催する。</p> <p>③どういう福祉サービスがあるのかわからないという人が多い。</p> <p>④サービスがあっても難病患者の特性に合っていない。症状が不安定な人には利用しづらいので、そのような人向けのサービスも今後生み出していく必要があるのではないかな。</p> <p>【手続き・相談について】</p> <p>①市役所の窓口では一度受けた人が最後まで全部一人で調べなければならないのか。それだと経験値によってサービスの質に差が出るのではないかな。情報の共有をしていけばもっと効率的にできるのではないかな。</p> <p>②遮光眼鏡を助成でつくることができたが、助成を受けることができるものを当事者も調べられるような情報発信していただきたい。</p> <p>③障害年金の申請について、社会保険労務士と診断書を書く医師の関係がうまくいっていないことがある。</p>	<p>【障害福祉サービスについて】</p> <p>①行動援護や移動支援、放課後デイサービスの利用日数や時間を増やしてほしい。</p> <p>②デイサービス事業所のリストを渡されるだけでは、どう選んでよいか分からない。せめて各事業所のパンフレットや、定員数、指導員数、空き状況などをファイリングしたものを、選ぶ参考として見せてもらえるようにしてほしい。・療育センターの希望者が非常に多く、2～3年待ち、次回が2か月先というような状況になっている。</p> <p>③各サービスを受けるまでの手順が分かりにくい。書式ではなく、図式にしてほしい。</p> <p>④通所のために申請に行ったとき、候補リストを渡されて自分で選んでくださいと言われ、自分で一生懸命探さなければいけなかった。パンフレット集のようなものを見せてほしい。</p> <p>⑤県の療育センターは小学3年生までしか通えない。大きくなると別の問題も出てくるので、もう少し延ばしてほしい。</p> <p>⑥児童福祉支援を受ける際、保健センター、児童相談所、市役所、療育施設の横の繋がりが無いために、同じことを毎回何度も話さなければならないのが負担に感じる。側で聞いている子どもも不安になるので、なんとか改善してほしい。</p> <p>【施設整備について】</p> <p>①デイサービスは増えたが、1日10名前後の定員なので、人気があるところは空きがない。小学生対象のデイサービスはたくさんあるが、中高生対象のものは少ない。</p> <p>②療育センター、デイサービス共に、すぐ定員オーバーになってしまい、通うことができない。規模の拡大をしていただきたい。</p> <p>③思春期の子を対象とした、行政のサポート機関を作してほしい。</p> <p>④久喜の作業所が今の高校2年生ぐらいの子で一杯になってしまうと聞いている。作業所やグループホームを増やしてほしい。</p>
③生活環境（施設等のバリアフリーなど）・住環境（住まいや住宅など）について	<p>【バリアフリーについて】</p> <p>①総合文化会館にエスカレーターを設置してほしい。</p> <p>②文化会館の観客席のトイレが和式なので、リウマチの人がとても苦労したことがある。</p> <p>③観客席は階段式になっていると思うが、スロープはどのようにになっているのか。</p> <p>【生活環境について】</p> <p>①街路樹が伐採されて非常に寂しくなっている。緑が見えることが心の支えになっている人もいるので何とかならないか。</p>	
④保健・医療（検診・医療体制）について	<p>【医療について】</p> <p>①入院したくても入院させてもらえない(ALS 70歳 男性)。</p> <p>②軽い風邪を引いた場合、大学病院の医師は近くの医療機関に診てもらいなさいという。それに対し、近所の開業医は難しい持病があるからここでは診れないという。専門医療と地域医療の意識に差がある。</p> <p>③治る見込みがないために、自宅で訪問看護を受けながら暮らして終末期を迎える人もいる。苦しんだり悪化したりするのを何とかしてあげたいと家族が病院に掛け合っても、病院ができることはないと言われてしまう。</p> <p>④大学病院や総合病院など、専門医のいる病院に通っている人が多いが、ちょっとした風邪などでは近くの医師に診てもらおうと言われる。かといって近所の開業医へ行くと、そのような持病があるのだから、うちでは対応できないと言われる。認識や医療技術に差がある。</p> <p>⑤議会だよりに東鷲宮病院の移転の話が出ていたが、公式な発表はまだ何もないということだった。不安感を起こさないためにも、情報の分析や基準などが必要ではないか。</p>	<p>【医療について】</p> <p>①発達担当の医師でも、親から見て、子どものことを分かっていないと感じる場合がある。</p> <p>②保護者が納得できるような説明もないまま、「とりあえずこれ飲んでみて」と、安易に薬を出す医師がいる。その病院に通っていて、症状が良い方に向かっているという話を聞いたことがない。</p> <p>③近隣に発達の診断が出来る医師がとても少ない。新久喜総合病院などの大きな病院の診察科目に発達外来を加えてもらう。または、新しく発達を診てくれる病院を作してほしい。</p> <p>④親向けに、子どもへの対応指導の勉強会や、情報など教えてくれる場がほしい。</p> <p>⑤発達障がいの子を診てもらえる歯医者者の情報がほしい。普通の歯医者に1年通って慣れさせようと努力したが、ダメだった。結局、今は松戸の大学病院まで通っているが、近くにはないものか。</p> <p>⑥小児医療センターなどは、基本的に就学と同時に終了となるので、現在子どもの主治医がいない状態である。子どもを遠方の病院に連れて行って何時間も待つことを考えると、近くにあればと感じる。</p> <p>⑦民間の療育は保険がきかず、とても高額な授業料を払わなければならないので、通わせるのが難しく、親の負担も非常に大きい。</p> <p>【検診について】</p> <p>①保健センターの検診の待ち時間が長く、発達障がいの子にとっては非常に負担が大きく、3歳児検診ではパニックになってしまい、結局まともな検査できなかった。日時をずらすか、先に対応してもらうことはできないか。</p> <p>②人がたくさんいる騒がしいところで待つのは苦手な子どももいる。保健センターの待ち時間については、時間や日にちをずらすなどの対応してほしい。</p>

団体名 質問項目	6. 難病の団体 (セルフヘルプグループたんぽぽ)	7. 発達障がい者の団体 (久喜市発達障がい児保護者サロン 凸凹じゃんぷ!の会)
⑤教育・保育(特別支援教育、障がい児保育など)について		<p>【保育について】</p> <p>①私立幼稚園に入園を断られた。入園前に子どもの様子を見てもらい、説明し、未就園児クラスにも参加していたのに。申請して加配の先生を付けられるということも、幼稚園側は知らなかった。結局、保育園に入れたが、働きながら発達障がいの子を育てるのはとても大変。</p> <p>②情緒や言葉の教室への通級指導を希望しても、定員いっぱいでは通うことができない場合がある。</p> <p>③幼稚園に子どもの説明をして「面倒をみる」と言われたのに結局辞めることになった。加配の先生をつけられることも知らなかったのだから、あまり理解がないのではないかな。</p> <p>【教育について】</p> <p>①新しく開設された支援級なのに、教材が揃っていない。教育委員会がその事を知っているのか。また、支援級の備品について、市からの配当金はあるのか。</p> <p>②保健室登校だと、一旦親学級に行かないと出席が遅刻早退扱いになり、受験の際に受験資格が得られない。</p> <p>③学校相談員さんを各校に配置してほしい。また、週2日よりもっと増やしてほしい。</p> <p>④不登校になってしまった発達障がいの子が、日中毎日通える場がほしい。デイサービスは、日中は幼児対象になる。</p> <p>⑤不登校の中には、発達障がいの子もいるので、サポート体制を確立してほしい。</p> <p>⑥学区外の中学校への通学許可を取るのが難しい。</p> <p>⑦普通級の生徒たちにも、発達障がいへの理解を広める教育を。</p> <p>⑧発達障がいの子どもも定型発達の子どもたちもお互いに一緒に過ごすことで学び、育つことがたくさんある。子どもたちを分けて育てた先には、良い社会ができるとは考えにくい。</p> <p>⑨一般の公立学校、幼稚園共に、教員は発達障がいの知識と専門性を上げるべきだと思う。また、知識だけではなく、当事者の身体感覚の体験を必須にするなど、正しく理解してほしい。</p> <p>⑩今年度、太東中学校の支援級在籍者は1名のみと聞いたが、皆違う場所に行ってしまうのか。地域の子が、その学区の中学校に安心して通える体制を整えてほしい。具体的には同学年の生徒と共に学校行事や、親学級での校内活動と一緒にできるように必要なサポートをしてほしい。</p> <p>⑪支援級でのサポートが不十分なために、居場所が無く、不登校になってしまうケースもあると思う。</p> <p>⑫中学校からの支援級のカリキュラム内容も、個々に合わせて柔軟に考えていただきたい。</p> <p>⑬支援学級において、障がいの軽い子への教育支援が適切に行われていないのではという不安がある。</p> <p>⑭中学校内の支援級の受入体制がしっかりしていないと、普通級からの通級指導もできないのでは。今、子どもが通っている小学校の支援級では、学年が違って、時間毎に教科を揃えて指導してくれているが、中学ではどうなのか。</p> <p>⑮若い先生では特別支援教育のカリキュラムを受けている人も多いが、ベテランの先生は受けていないことが多く、理解してもらおうのが難しい。</p> <p>⑯就学前の母親は支援学校が良いのか、支援級、普通級が良いのかわからない。最初に「お母さんどうですか」と聞かれるがわからないので、もう少し寄り添えるような相談窓口があると良い。</p> <p>⑰「県の職員だから市はここまでしか言えない」と言われることがあるが、久喜市の子どもなのだから、市にも子どもや保護者を守る基盤があっても良いのではないかな。</p> <p>⑱中学校の支援級に行きたい気持ちはあるが、地域の中学校の支援級の状況がわからないので、支援学校とどちらにするのか迷っている方がいる。支援級と支援学校でやることに差があるので心配しているのではないかな。また、勉強で評価してしまっているところがあるのではないかな。</p> <p>⑲支援級に通っていた小3男児が交流事業で親学級に行った際、教師間のコミュニケーション不足のため、習字の授業のサポートがなく、どうしたらよいか分からずに困っていた。親からその後サポートをつけてくれるよう求めたが改善されなかった。これまでも連携不足による支援の問題が積み重なったことで、教師への不信感が増し、次年度は支援学校へ移籍した。</p> <p>⑳全ての先生方に特別教育支援カリキュラムの研修を受けていただいた上で、受けるだけではなく、きちんと理解し、実践していただきたい。</p> <p>㉑普通級、支援級、他校での通級指導と、先生方との情報共有をしていただきたい。また、支援学校のコーディネーターさんなどにも見てもらい、アドバイスをいただけてほしい。</p> <p>㉒先生方が生徒への対応に悩んだ際に、専門家に相談できる体制を作してほしい。</p> <p>㉓年配の先生ほど、発達障がいへの理解に乏しい傾向が強い。・他市の例であるが、通常級に在籍していた小1男児が、担当の発達障がいへの理解不足から、毎日強く叱責され続け、二次障がいになってしまった。また、母親も「親の育て方が悪い!」「この大変な状況を登校から下校まで見に来てください」と言われ、1ヶ月学校に通い、「これで分かったでしょう!」と言われ、強いストレスから母親も精神安定剤を飲むほどまでに追い詰められてしまった。幸い、校長先生が「なんとかお子さんの気持ちを理解したい」と寄り添ってくださり、その後事態は良い方向に向かい、担当と保護者の関係も改善した。このような事は、市内でも十分起こりえる事例でもある。</p> <p>㉔幼稚園、保育園、学校の先生方の意識改革が、子どもたちの生活環境を整えることに繋がると思う。</p> <p>㉕発達に凸凹のある子どもは生活環境に非常に左右される。学校の先生や友達との関わりで二次障がいを起こしてしまうこともあるので、配慮して接してほしい。</p> <p>㉖就学と共に、相談先が無くなる(小児医療センター、中川の郷など)。就学後も継続して相談できる場所を作っていただきたい。</p>

団体名 質問項目	6. 難病の団体 (セルフヘルプグループたんぼぼ)	7. 発達障がいの団体 (久喜市発達障がい児保護者サロン 凸凹じゃんぷ!の会)
⑥雇用・就労(就労先や就労支援など)について	<p>【雇用について】</p> <p>①病気を直接の理由とした差別の禁止、職場において病気との関連で必要な配慮をすることの義務化。患者に対して難病就職サポーターの周知、企業に対して難治性疾患患者雇用開発助成金の周知。</p> <p>②就職面接の際に、病気のことを話すと採用されないし、開示しないで働く通院などへの配慮が受けられない。</p> <p>③働くことを前提に資格を取得したり、スキルを磨くための支援や機会があれば良い。</p> <p>④難病でも就労移行支援や就労継続支援などを利用できる場があるはずだが、それらのアナウンスや、そういう場があることを知っている人が非常に少ない。</p> <p>⑤障害者手帳を持っていると、面接のレッスンや履歴書の書き方の添削などがあるが、難病の人にも必要である。</p> <p>⑥体調や病状を企業に理解してもらえなくて就職をあきらめた実例がある。</p> <p>⑦障がい者は雇用率にカウントされるが、難病患者はそこまで行っていない。</p> <p>【就労支援について】</p> <p>①難病就職サポーターについて、埼玉県の人でも一所懸命やっているが、東京都の人とは経験値に差がある。難病就職サポーター同士の情報共有やスキルアップができるように働きかけることはできないか。</p> <p>②働くことを前提に資格取得にかかる費用など就職活動の費用の一部を支援する。障害年金受給の可能性や生活保護制度の周知。</p>	<p>【雇用について】</p> <p>①支援学校、支援学級、その先も健常児と同じ選択肢が選べないのはおかしい。</p> <p>【就労支援について】</p> <p>①民間企業に発達障がいへの理解を促し、本人の特性を生かした担当部署への配置と、本人が特性を公言しても差別を受けない職場環境づくり(「なんでもできないの」と責められないように)を広げてほしい。また、ステップを踏んで、出来る仕事の種類を増やし、レベルアップしていけるような配慮をしてもらおう。</p> <p>②支援学校卒業後に行ける施設が限られてしまい、募集人数も少なく、賃金も安いので、親がいなくなった後、生きていけるのか心配だ。自立へのサポート体制を充実してほしい。</p>
⑦生涯学習・スポーツ(生涯学習、スポーツ・レクリエーション、芸術文化活動)について	<p>①地域に住んでいる難病患者の交流や、お互いに高めあうことを目的とした活動をしようとしている。</p> <p>②埼玉県障害難病団体協議会では生涯学習や文化活動を行っている。そのようにいろいろな患者会が集まることの重要性を痛感している。</p>	<p>①一般の人達と一緒に参加できるような、簡単で楽しいスポーツイベントの開催。</p> <p>②4月のブルーライトキャンペーンの際に、文化会館などで多くの方が参加できる発達障がいについての講演会開催を希望(3月12日に館林市で開催された講演会がとてもよかったです。久喜でもぜひ)その他にも、街(駅や公民館、商店街など)をブルーライトで飾ったり、支援級・支援学校の子どもの絵画作品、作文などを募集して展示したり、小学校でのインクルーシブ教育講座開催など。</p> <p>③他市で障がいのある人と一般の人が一緒にできる活動をしている団体の講演会を聞いてきた。できれば久喜市でも呼んで講演会をしてほしい。</p>
⑧安心・安全なまちづくり(災害、防犯・防災対策)について	<p>①避難中に薬を確保できるか心配。</p> <p>②定期的な受診や薬の処方を受けられる状態であれば問題ないが、突然災害が起きると、病院に行けない、薬をもらえない状況になる可能性がある。福祉避難所などで薬が支給されたり、訪問看護などのサービスの利用継続が可能なのか。</p> <p>③医療ネットワークをもっと整備する必要がある。</p>	<p>①災害時に、発達障がいがあり、サポートが必要であることを周囲に分かってもらうために、首から下げる個人カードの作成。名前、住所、連絡先、特性(大きい声や人混みが苦手、パニックになった時の対処法など)を簡潔に書いておく。外国の方や、認知症の方のサポート(意思表示)カードの障がい者版。</p>
⑨障がいへの理解(周囲の理解や地域社会のあり方)について	<p>①見た目では健常者と変わらないため、1から説明して理解を求めなければならない。周囲の理解が得づらい。病気のことを話すとやたらに気を使われる。外見でしか人は見ないから。見た目は元気そうに見えるので、きつても何て言ったらいいのかわからない。怠けているように見えてしまうのがつらい。→市民に病気を知ってもらう必要がある。案として、障がい者施策推進協議会や障がい福祉計画策定委員会に当事者が参加する。当事者と市民と一緒に参加する勉強会を開催する。患者に体験を講演してもらおう。</p> <p>②日頃から身近な人や信頼できる人などに病気のことなどを伝えておき、理解者を増やすことが大事ではないか。理解してくれないと思うのではなく、理解してもらうにはどうしたらよいか考えて行動することも大事ではないか。</p> <p>③病気の種類も多いし、同じ病気でも個人差がある。ただ、根っこの部分では共通しているものが必ずあると思う。</p> <p>④膠原病ではないドライアイやドライマウスの患者も多いので、難病患者対健常者ではなく、症状を通じて裾野を広げていくこともできるのではないか。</p>	<p>①普段から地域の人との繋がりを作っておく。特性を理解して、対処法を知っている人がたくさんいれば、今よりもっとお互いに気持ちよく暮らせると思います。</p> <p>②一般の方は、「発達障がい」という言葉は知っていても、具体的には分からない場合が多いと思う。町内会の回覧板などを使い、基本的な発達障がいについての紹介(行動の理由、接し方のコツなど)を書いたものを読んでもらう。人は「知らない、分からない」から恐れたり、排除しようとするのではないか。</p> <p>③サポートブックや、サポートペーパーを活用して、自分から積極的に周囲に理解してもらうためのアプローチも必要。</p> <p>④発達障がい者への対処法は、子どもから高齢者まで、全ての人に通じるものである。</p>

団体名 質問項目	6. 難病の団体 (セルフヘルプグループたんぽぽ)	7. 発達障がい者の団体 (久喜市発達障がい児保護者サロン 凸凹じゃんぷ!の会)
①久喜市が施策展開を進めるうえで、特に重点的に取り組むべき課題は何だと思えますか。	<p>【行政について】</p> <p>①行政の人に相談しても通り一遍の答えしか返ってこないで、問題解決に至らないことがほとんど。こういう人生だと思ってあきらめている。(ALS 70歳 男性)</p> <p>②患者や市民側からすると、役所の窓口の人が自分のことを理解してくれないと、言っても無駄だと感じてしまう。</p> <p>③難病患者も障害福祉サービスの対象といっているわりには、障がい者福祉課の職員は病気の知識や難病に関する制度の知識が乏しい。責任の所在を保健所と押し付け合っている。障がい者生活支援センターも専門性が低い。→相談支援事業の強化が必要である。難病患者の特性を理解した相談支援が必要である。分野に精通した人材が窓口にいることが望まれる。</p> <p>【団体について】</p> <p>①同じ患者同士が話し合える場が多くなり、そこで出た意見を行政が組み上げてくれるようになったら良い。案として、当事者相談員の設置。患者の親睦会を開催する。</p> <p>②相談に来た人が何か一つ持ち帰ることができる、来て良かったと思える相談対応ができると良い。専門の人が相談に乗ってくれる場所、当事者同士で相談に乗れるようなことを計画の中で検討してほしい。</p> <p>③当事者相談員の設置、患者の親睦会の開催が重要だと感じた。定期的に会合を持ってすり合わせることで、患者当事者の理解が深まるのではないか。</p> <p>【障がいの理解について】</p> <p>①障がい福祉の関係者からは難病のことはよくわからないと言われるし、医療関係機関からは難病患者が使える福祉制度のことはよくわからないと言われる。そういった部分に難病患者を取り巻く難しさ、生きづらさがある。</p>	<p>【教育について】</p> <p>①まず、子どもに接する先生方の意識改革。</p> <p>②子どもたちの状態は日々接している先生方によってかなり変わるので、研修などで理解を深めるようにしてほしい。</p>
②計画策定にあたり、ご意見がありましたらご記入ください。	<p>①難病法ができたことで、自分たちに光があたった、自分たちの生活が変わると思いこんでしまった人が結構いる。現実にはそのようなことにはなっていないので、期待外れになってしまったところがある。</p> <p>②既存のものを利用できるようになったが、難病の人に合わせていたり、難病の人が利用できるものを新たにつくっていくことを計画策定に反映してほしい。</p>	<p>①今回書かせていただいた内容を一つでも多く汲み取っていただき、見える形で結果として実現していただけることを、心から願っております。</p> <p>②保護者の一番の望みは、わが子が二次障がいになることなく、自分達が亡き後、持っている能力を活かして精一杯働き、どうにか自立した生活を送っていただけることです。そのためには、幼少期からのサポートは必要不可欠です。どうぞよろしく願いいたします。また、このような発言の場を与えていただけたことに、心より深く感謝申し上げます。</p>